

森林パトロール通信

平成28年度 第4号 平成28年6月27日発行

小学生を対象とした森林環境教育「水の旅」実施！！

小田川土地改良区主催による「水の旅」の現地学習の協力要請により、五所川原市小田川ダム周辺において地域の小学生を対象に森林教室を行いました。

今年度は、6月14日（火）に五所川原市立いすみ小学校の4年生21名、6月22日（水）に五所川原市立金木小学校の4年生47人を対象に「田んぼの水はどこから来てどこへ？」というテーマで、地域の施設をバスで巡りながら学習しました。



当日小学生は、はじめに小田川から水をひいて水田まで運ぶ「小田川頭首工」を見学し、水田の水を溜めて運ぶ役割がある「小田川ダム」を見学しました。

その後、小田川ダム周辺の水源の森において「水をつくる森林」をテーマに当支署職員による森林教室を行いました。

はじめに、森林の役割や雨水がどのように森林に蓄えられるかなどの学習を行いました。そして県木である青森ヒバの特徴の説明では、実際にヒバのコースターを配布して香りや触感を試してもらいながら行いました。



次に、「さらさらした土」、「粘りのある土」、「草に覆われている土」を並べて順番に水を流すとそれぞれどのような水が流れ出てくるかという実験を行いました。さらさらした土は水と共に流れ出て、粘りのある土では茶色く流れる水を見て小学生からは、「全部ながれてしまう〜！」「きたない水〜」などの声があがりました。しかし、最後に草に覆われている土に水を流すと、流れていく水が段々綺麗になっていく様子がわかり、これには小学生もびっくりしている様子でした。



「ほくたちも水流した〜い！！」



ジャンケンで勝った人だよ〜

実験後は、まつぼっくりのに入ったペットボトルを見せながら、松かさの開閉の仕組みや種の飛び方の話しをしました。



松ぼっくりはどうしてペットボトルに入ったかわかる？



松ぼっくりは種を遠くに飛ばすために晴れた日に笠が開くよ！



職員の手作り記念品のプレゼント

その後小学生は、水田の水を管理する「小田川土地改良区事務所」と、水田の水をためて流す「藤枝ため池」を見学していきました。



(平成28年6月14日)五所川原市立いづみ小学校



(平成28年6月22日)五所川原市立金木小学校

この学習で小学生は、森林は水を育むはたらきや地球温暖化を防止するはたらき、山崩れを防ぐはたらき、いろいろな動植物を守り育てるはたらきなどがあり、私たちがこの地球上で生きて行くうえで欠くことのできない大切な力を持っているということを理解できたのではないのでしょうか。



津軽森林管理署金木支署 担当：三橋 浩恵
☎0173-53-3115 FAX0173-53-3197